

浄土真宗本願寺派 兵庫教区・本願寺神戸別院 親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 **慶讃法要**

つむ **ご縁を紡ぐ感謝の日、お念仏とともに歩む**

法要テーマ

2024(令和6)年5月16日から19日修行

別院だより

モダン寺新聞

MODERN DERA SHIMBUN

第62号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
Tel: 078-341-5949

令和4年より「兵庫教区・神戸別院法要推進委員会」を結成し準備してきた「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が、5月16日から19日までの4日間、神戸別院にて修行される。

この度の法要は、「親鸞聖人の説き示してくださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかった」という聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝すること趣旨に勤められる。

法要テーマは、「ご縁を紡ぐ感謝の日、お念仏とともに歩む」が制定され法要への機運が高まっている。

法要日程は、午後1時から、コーラスの集い、オリエンテーション、お勤め、法話、記念講演となり午後4時半までとなっている。

お勤めは、宗祖親鸞聖人によってお念仏のみ教えの真意が開顕された浄土真宗の根本聖典「顕浄土真実教行証文類」(教行信証) からすべて御文が選定され、伝統的な声明と大

衆唱和の両面を兼ね備えて制定された「新制御本典作法」となっている。法話は、滋賀県彦根市から野瀬妙恵特命布教講師が出向される。

また、記念講演には、雅楽師の東儀秀樹さん、万葉学者の上野誠さん、弁護士の上野記子さん、落語家の月亭方正さんが予定されており、東儀秀樹さんと三輪記子さんについては、相愛大学学長の釈徹宗さんとの対談も行われる。

当日は、出店などのイベントも企画されており楽しく過ごせる1日となるように準備が進められている。

**法要に先駆け
協賛行事開催**

2月10日、慶讃法要円成に向けて機運を高めるために、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要協賛行事講演会」が開催された。

「現代人の生きづらさ」をテーマに掲げ、相愛大学学長の釈徹宗さんと俳優・タレントのサヘル・ローズさんを招いて、前半は講演を行い、後半は対談で行われた。

釈徹宗さんは「心と言葉と」、サヘル・ローズさんは「出会いこそ、生きる力」と題して講演を行った。

対談は、「現代人の生きづらさ」をテーマに行われた。

当日は、350名の参加者となり事前申し込みを上回り終了した。

慶讃法要 記念講演講師

16日・18日は釈徹宗さん(僧侶・相愛大学学長)との対談です

16日(木) 演奏・講演・対談

東儀 秀樹 (雅楽師)



対談テーマ
「東儀流生き方」

17日(金) 講演

上野 誠 (万葉学者)



講演テーマ
「日本人と聖徳太子」

18日(土) 対談

三輪 記子 (弁護士)



対談テーマ
「法律家から見た現代人の生きづらさ」

19日(日) 講演・落語

月亭 方正 (落語家)



講演テーマ
「僕が落語家になった理由」

孟蘭盆会

令和5年8月15日、孟蘭盆会が勤められた。折りしも、台風7号が上陸する中での法要であったため、参拝者は4名であった。勤行は、『仏説阿弥陀經』。その後、松本隆英輪番の法話にて孟蘭盆会が無事に修行となった。

秋季彼岸会

9月22日から24日までの3日間、秋季彼岸会が勤められ107名が参拝した。勤行は、初日が、『仏説觀無量壽經』、中日は、『仏説無量壽經』、最終日は、『仏説阿弥陀經』。法要の3日間で、『浄土三部經』を勤める形となった。講師は、たつの市・浄蓮寺より竹内俊之師を迎えた。

中日には、別院仏教婦人会による「おはぎ」の接待があった。前日からの準備と当日の「おはぎ」作りと忙しい中でも、会員同士で和氣藹々とした雰囲気活動されていた。

総会所仏具のおみぎ

別院の報恩講法要に向けて、法要時に、僧侶が控える総会所の仏具を綺麗にする「おみぎ」が、11月18日行われた。別院仏婦から7名が参加し、心を込めて一生懸命にみがかれていた。

令和5年度 本願寺神戸別院報恩講法要

4年ぶりに制限なしの法要

本願寺神戸別院報恩講法要が、11月26日から28日までの3日間、新型コロナウイルスの制限がない形で営まれた。

さらに、2023年は、親鸞聖人がご誕生されてから850年に当たるため、新たな法要作法として制定された「新制 御本典作法」が、27日の速夜法要で勤められた。

法要は、26日午後2時、当院の輪番である松本隆英輪番が導師を勤め「大師影供作法」で始まり3日間で350名の参拝があった。

講師は、奈良県五條市の圓光寺より和氣秀剛師が6座の法座にて法話した。

この度の報恩講法要では、兵庫教区内の門徒にて組織されている門徒推進員連絡協議会の有志が法被をまとって参拝者の出迎え案内などを行った。また、各法要（8座）に参拝してスタンプを押す「報恩講法要スタンプラリー」も行われた。

また、27日のお昼には、別院仏教婦人会によるお齋が再開され、4年ぶりのお齋に参拝者の笑顔が見られた。

別院近隣の花隈モダンタウン協議会主催による「モダンタウンフェスティバル」も26日に併催された。



コロナ禍前に戻った報恩講法要

「壮大な仏華が荘厳され」

今年度の報恩講法要では、仏祖にお供えする仏華が例年と異なったものであり、ご本山と同じような印象を受けた。別院法式担当者に聞くと、「京都・西本願寺の仏華を担当している有限会社花新（京都市下京区）さんが立てた」との回答があった。神戸で、ご本山と同じような仏華が見られたことに感激した参拝者の声が聞かれた。

阪神・淡路大震災物故者総追悼法要

1. 17いのちを考える研修会

「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」並びに「1. 17いのちを考える研修会」が、令和6年1月17日に開催された。当日は、午後1時半から、6名の僧侶が一堂後、宗門関係学校の生徒3名が献華をし法要が始まった。

お勤め後、宗門関係学校の生徒による作文朗読では、神戸国際中学校の岩崎実結さん、神戸龍谷中学校の川上泰明さん、兵庫大学付属須磨ノ浦高等学校の田中信帆さんが朗読した。

研修会は、朝日放送テレビアナウンサーであり神戸新開地にある喜楽館支配人の伊藤史隆さんを迎えての講演となった。伊藤さんは、家族や自らも被災していたが、全国に震災の状況を伝え知ってもらうことが大切であると考え、報道に従事したことやその際の経験や感じたことを語った。

時折、笑いも交えた語り口調に、参加者は熱心に聞き入っていた。



講演する伊藤史隆さん

令和6年能登半島地震 災害義援金のご協力を

2024（令和6）年1月1日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生した。

浄土真宗本願寺派では、石川・高岡（富山県）・富山・国府（新潟県）・新潟教区の5教区から被害の報告が寄せられており、特に、石川・高岡教区などで甚大な被害が出ている。

石川教区では、本堂、庫裏や山門、鐘楼などの全壊や半壊、傾斜などのほかに津波による床上浸水の被害があり、門徒にも多数の被害が及んでいる。

浄土真宗本願寺派は、地震発生後から被災教区に状況報告を依頼し、1月4日には、第1次復旧支援隊を派遣してお見舞い及び支援物資の搬送を行っている現地調査を実施している。

また、1月8日には、本願寺金沢別院内に、「令和6年能登半島地震浄土真宗本願寺派能登半島地震支援センター」を設置し、支援物資の受け入れやボランティアの受付、情報発信などを行っている。

さらに、継続した被災地の復興支援を目的とした義援金として、「浄土真宗本願寺派たすけあい募金」の募集も開始されており全国から支援の志が届いている。（募金詳細は、4面参照）

当院からも支援センターへ 職員を派遣

震災支援のため、2月5日から、「令和6年能登半島地震浄土真宗本願寺派能登半島地震支援センター」へ別院職員1名が派遣されている。現地からの報告を記載いたします。

「現地からのレポート」

能登半島地震による被災地では、建物の倒壊や津波による被害が起り、更に余震や停電・断水といった苦しい避難生活が続いています。

また、災害廃棄物の撤去や物資搬送の支援においては、多くの道路が寸断されているため困難を極めています。

現時点では、復興に向けての活動は思うように進まず、継続的な支援が必要な状態が続いています。



全壊した本堂（七尾市内）

モダン寺護持基金箱

「お聴聞の場を次世代へ」を願い設置

本願寺神戸別院は別名として、モダン寺とも呼ばれる。それは、昭和5年に、「インド仏教様式デザイン」の鉄筋コンクリート大寺院が建設されたことから始まります。当時の新聞にも「モダンな姿を現出せる」との記事もあります。

しかしながら、鉄筋コンクリートといえども90年の歳月が流れると老朽化が目立ち、遂には危険な建物となり建て替えとなつてしまいました。このときの建物を、「昭和のモダン寺」と呼びます。

平成の世になり、ご門徒のみならずのご尽力により現在の「平成のモダン寺」の計画が進められましたが、建設中には、折しも、阪神・淡路大震災が発生し多くの困難を抱えつつも同年9月には竣工いたしました。

その「平成のモダン寺」も、来年で30年を迎えます。実際、建物の外壁や建具に老朽化が目立ち始めております。建物を長く使用するためには適切なメンテナンスを施すことが求められます。

先日、建物改修工事に向けての調査を実施いたしました。調査の結果、外壁においては、各面で塗装の剥がれている箇所が随所に見受けられ、特に西側の外



新調された基金箱

壁の劣化が進んでいるようです。また、外壁躯体のひび割れやコーキングの硬化も見受けられる状況とのことです。

現在、30年の節目として、改修工事を行う計画を立てています。そのためにも、改修工事費用、さらには、将来の建て替えも視野に入れた「モダン寺護持基金箱」をご門徒の方が寄進してくださいました。「お聴聞の場を次世代へ」を願って、1階ピロティに基金箱を設置しておりますので、ご来院の際は、ご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金

令和6年能登半島地震 災害義援金

受付口座番号

● 郵便振替

01000-4-69957
加入者名 たすけあい募金

● 銀行振込

銀行 ゆうちょ銀行
店名 一〇九(イチゼロキュウ)店
番号 当座 0069957
名義 たすけあい募金

※通信欄に「能登地震」とご記入ください。住所、連絡先、領収書名のご記入をお願いします。

※インターネットバンキングにて振込の方には、入金確認後、住所、連絡先、領収書名義等について確認のご連絡をいたします。



募金箱

令和6年能登半島地震への災害義援金における募金箱を、3階本堂のエレベーター前に設置しています。
募金された方からは、「少しだけの義援金ですが、今、出来ることをするしかない」と語りながら募金されていきました。

令和6年能登半島地震
災害義援金のご協力をお願い

令和5年8月8日(日本時間8月9日)、米ハワイ・マウイ島の山火事に起因する大規模火災により、島西部ラハイナがほぼ全焼するなど甚大な被害が発生した。本願寺派ハワイ開教区にあるラハイナ本願寺が、本堂・庫裏・ホール(会館)等が全焼し、駐在開教使やメンバー(門信徒)が避難を余儀なくされた。さまざまな被害を受けたことから、被災地の復興支援を行うため、当院本堂に義援金箱を設置し四万八千二百九十一円の義援金が集まった。
送金に際して、担当職員は、「みなさまからの義援金を宗派へ送金いたしました。ご協力いただきましたこと有り難うございます」と語った。

ハワイ・マウイ島大規模火災
災害義援金の報告

2024(令和6)年度 本願寺神戸別院 法要行事予定

【恒例法要】

| | | |
|-------|------------------|------|
| 宗祖降誕会 | 5月26日(日) | 午後2時 |
| 永代経法要 | 6月23日(日) | 午後2時 |
| 暁天講座 | 8月1日(木)~3日(土) | 午前7時 |
| 孟蘭盆会 | 8月15日(木) | 午後2時 |
| 秋季彼岸会 | 9月21日(土)~23日(月) | 午後2時 |
| 報恩講法要 | 11月26日(火)~28日(木) | |

日中:午前10時、逮夜:午後2時

| | | |
|-----|-----------|------|
| 除夜会 | 12月31日(火) | 午後4時 |
| 元旦会 | 1月1日(水) | 午前7時 |

阪神・淡路大震災物故者総追悼法要

「いのち」を考える研修会 1月17日(金)

春季彼岸会 3月19日(水)~21日(金)

※20日(木)は、納骨者総追悼法要を併修 午後2時

【日次勤行】

お晨朝 毎日 午前7時

【毎月の法座】

| | | |
|----------|---------|---------|
| 第一土曜仏教講座 | 第1土曜日 | 午後1時30分 |
| 常例法座 | 15日・16日 | 午後2時 |

1階ピロティに

大型テレビ出現

別院1階のピロティに、「モダン寺護持基金箱」の設置と共に、86Vの大きなテレビも設置された。このテレビでは、親鸞聖人のご生涯、仏事作法やモダン寺を紹介する動画が流されている。この動画を観て、「み教えが次世代へ伝わるように」と感じていただき、護持基金へのご理解、ご協力をお願いしたいとの意図から設置に至った。



86Vのテレビと基金箱

テレビホン法話は、紙面の都合により、この度はお休みいたします。